

## 第 35 回東北建築賞作品賞選考報告

選考委員長 恒松 良純

### 1. 応募作品

- ・小規模建築物部門 10 点
- ・一般建築物部門 14 点
- 計 24 点

### 2. 選考経過

(1) 事前打ち合わせ会議 2014 年 9 月 2 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00

於 日本建築学会東北支部会議室

選考委員長の選出、東北建築賞作品賞募集要項、選考委員会規則などを確認した上で、応募作品の数とその内訳を確認した。東北建築作品発表会の運営方法及び東北建築賞作品賞の選考基準などについて事前打ち合わせを行った。

(2) 東北建築作品発表会 2014 年 9 月 20 日 (土) 10 : 00 ~ 15 : 50

於 せんだいメディアテーク 7 階スタジオシアター

第 25 回東北建築作品発表会において応募 24 作品の発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介され、発表会は全体として滞りなく進められ終了した。時間厳守にご協力いただいた発表者、諸氏に敬意を表したい。

(3) 第 1 次審査会 2014 年 9 月 20 日 (土) 16 : 00 ~ 17 : 15

於 せんだいメディアテーク 2 階会議室

東北建築作品発表会終了後、会場を移し、現地審査を行う必要のある作品を選定することを目的として、第 1 次審査を行った。①企画力、②技術力、③地域への貢献・文化度、の選考基準を前提とし、2 次審査対象作品として、約半数の 10~12 作品を選定するため、小規模建築物部門、一般建築物部門を別々に選考せず、全作品の中から 12 作品程度を選考する事となった。各委員が夫々 9 票を投票した結果、得票数は 0~9 票となった。得票数 5~9 票までの 11 作品を第 1 次審査通過とし、更に得票数 4 票であった 4 作品から 3 作品を審査通過とした。

以上の結果、小規模建築物部門 5 点、一般建築物部門 9 点の合計 14 点を第 1 次審査通過とした。

次に、現地審査は 1 作品につき 2 名以上の選考委員がこれに当たることを確認し、選定された 14 作品について現地審査の分担を決め、現地において確認すべき点を検討し、作品管理者との連絡を含めた現地審査の日程調整は事務局を通して行う事とした。

なお、1 次審査の落選者へは 200 字程度の講評を選考委員分担で作成し、選考委員会として送付することを確認した。

#### (4) 現地審査

現地審査については11月と12月に選考委員で分担して現地審査が行われた。

#### (5) 第2次審査 2015年1月24日(土) 13:00~17:30

於：日本建築学会東北支部会議室

小規模建築物部門ならびに一般建築物部門について、1作品ずつ、現地審査担当者から写真スライド等により報告を受けた後、作品についての質疑や審査委員の評価ポイント等についての討議を全審査員で行った。一般建築物部門、小規模建築物部門を問わず1人6作品以内で票を投じ、まず8票以上を獲得した3作品、次いで6票を獲得した2作品について全会一致で作品賞として選定した。また、4票を獲得した2作品について議論の上、特別賞とした。以上の審議により、小規模建築物部門については作品賞1作品、一般建築物部門については作品賞4作品とした。小規模建築物部門より1作品と一般建築物部門より1作品を特別賞とした。

なお、賞の数については、募集要項で「作品賞は原則として小規模建築物部門4点以内、一般建築物部門4点以内」としている。

#### (6) 選考結果

作品賞 5点

##### 石巻市子どもセンター

【所在地】宮城県石巻市立町1丁目6-1

【基本構想・監修】・石巻市子どもまちづくりクラブ

・公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 建築アドバイザー (ボランティア)

【施主】公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

【設計施工】榊竹中工務店

##### 山形 BPO ガーデン

【所在地】山形県酒田市京田4丁目1番地1

【設計監理】榊久米設計

【施主】榊プレステージ・インターナショナル

【施工】榊大林組

##### 認定こども園 ぼだい樹西こども園 西保育園

【所在地】福島県白河市南登町15

【設計監理】意匠：(有) 辺見美津男設計室

【施主】学校法人 専念寺学園 理事長 寺西 俊瑞

【施工】(株) 松本工務店

【木工事】(有) 鈴常工務店

### 庄内町新産業創造館クラッセ

【所在地】山形県東田川郡庄内町余目字沢田 108 番地 1

【設計監理】(株)羽田設計事務所

【施主】庄内町

【施工】(株)狩川佐藤組

### 会津坂下町立坂下東幼稚園

【所在地】福島県河沼郡会津坂下町字上口 7 0 5

【設計監理】意匠：阿部・辺見・秋月設計共同体＋嶋影＋坂詰＋三瓶＋田中＋鈴木

構造：エーユーエム構造設計(株)

電気設備：エディック

機械設備：創スペース(株)

【施主】福島県会津坂下町長

【施工】建築：マルト建設(株)

電気：(有)長田電気工業

空調・衛生：(株)アクーズ会津

### 特別賞 2点

#### 水平線に沈む屋根

【所在地】宮城県仙台市太白区

【設計監理】意匠：(有)都市建築設計集団

構造：皆本建築工房

【施主】阿部

【施工】(株)プライム 下館工務店

#### かなや幼稚園

【所在地】福島県いわき市内郷高坂町四方木田 153

【設計監理】設計統括：株式会社石嶋設計室

意匠設計：小松豪一級建築士事務所

構造設計：株式会社 KAP

設備設計：株式会社テーテンス事務所

照明設計：ぼんぼり光環境計画株式会社

外構設計：高橋ランドスケープ

家具設計：laboratory 株式会社

屋外遊具設計：株式会社コト葉 LAB.

サイン設計：藤城 光

屋外アートデザイン：OZA METALSTUDIO、湯村 光

【施主】学校法人志向学園かなや幼稚園

【施工】福浜大一建設株式会社

膜屋根施工：協立工業株式会社

## (7) 講評

### 作品賞

#### 【石巻市子どもセンター】

石巻の子ども達にとって、仮設住宅の集会所は自分たちの居場所ではなく、大人達の居場所との認識です。彼らが石巻のまちづくりに最も必要だと思ったのが「子どもの居場所」。子ども達がイメージする「ゆったり広場」という抽象的な言葉から、建築家と子ども達はワークショップを繰り返しながら建築空間のイメージを探り当てました。建築家は子ども達に「良い空間」を教えながら、建築家は子ども達の豊かなイメージに学びながら「ネスト（動物の巣）」のような空間、多様な空間が3次元に繋がって見え隠れしています。子ども達は複雑な空間を楽しみながら使いこなしています。そしてこの施設は、子ども達自身が積極的に施設運営に参画しています。子ども達が自分たちで地域に必要な建築をデザインしていく、そしてできた建築を愛着を持って育てて行く。このプロジェクトは単に優れた建築デザインを生み出しただけではなく、優れた建築デザインが分かる発注者、そしてそれを運営していく主体を育てるプロジェクトとして、東北建築賞に相応しいとの高い評価が得られました。

#### 【山形 BPO ガーデン】

インターチェンジに近く、施設は白いリボン状のシルエットが高速道路を走る者に優しく遠望できる位置にある。

施設は、コールセンター機能で、スタッフを500人も有する地元の大きな企業である。大半が女性であり、女性の社会進出を象徴する職場環境といえる。設計コンセプトを明確に表現した計画となっている。施設機能から、女流建築家を参加条件としたコンペであったという。

明るさと優しさに溢れたオフィス環境であり、外部から内部への色彩の統一性は、立体的なスロープ状となっているリボン状の回遊空間全体に及び、スリット状の外壁の外光と、適度に配置されたトップライトの光は、空間全体を優しさで包み込み、軽快感を与えている。女性の配慮に、大きなパウダーコーナーや春夏秋冬ゾーンに分けた色彩ゾーンも華やかさを引き出すための努力が伺えた。

24時間体制と出張のための福利厚生施設も完備されており、働く社員への企業側のモデルケースとなりえると感じた。さらに、地域貢献として広い敷地内での地域住民とのふれあいイベントに解放され市民コミュニティー作りに取り組んでいる姿も評価したい。

#### 【認定こども園ぼだい樹西こども園 西保育園】

本施設は北西風に対応した配置となっており、東側に芝生広場を有し、南側は川に面している。土間玄関から根付き杉丸太16本の柱群で囲まれた遊戯ホールを中心として、芝生広場を挟んで両ウイングに保育室を配置した平面構成となっている。特に遊戯ホールは、

子供たちを大きな傘の元に愛情一杯に育てたいという意図から、陣笠の骨が16本あることからイメージされている。

設計のコンセプトは、「生きる力」を育てることであり、多様な生活体験の場の再構築にある。各室を探検魂の育成を目的として、様々な仕掛けを提供し、あたかも森の中にいるかのような育ちの空間のある楽しい保育園を創出している点は評価に値するものである。また、施設内部は地場産材をふんだんに活用し、薪ストーブのある多目的ランチルームをはじめ、木の香り一杯の当保育園は、この施設で育つ園児に自然な環境空間のあり方と、建築がもたらす情操教育のありように一石を投じているといえる。更に雨水利用、地中熱利用、太陽光発電など省エネルギーを多様に取り入れており、小規模施設でありながら積極的に環境に配慮している点も高く評価された。

### 【庄内町新産業創造館クラッセ】

昭和9年に建築された近代において国内最大級の米倉庫を、その姿を大切にしつつ、町の産業振興、雇用創出、中心市街地の活性化を基本理念として再生した施設である。米倉庫は、近代以降、日本有数の米所である庄内町の景観を形成してきた。最大の魅力である大屋根の白瓦は新しいものに葺き替えられ、防火構造とするため防火壁の追加や外壁の改良が行われたが、その姿を留めている。内部は用途変更に伴う間仕切りや空調設備、内装制限による仕上げ材の追加、構造補強がなされたが、建設当時の松杭やコンクリート基礎、軸組や壁体は保存されている。また、屋根棟部において外観上のアクセントになっている既存の換気塔や天窓を改修して活かしている。新しい用途の利用状況を見ると、農業が盛んな町の食材を使ったレストラン、下屋部分に設けられた地元特産品を販売するバザールは観光客や周辺住民などに、加工特産品開発のための貸工房及び共同利用加工場は地元団体によく利用されている。貸オフィスはIT企業が入居済で、地域の雇用創出につながっている。このようにクラッセは、全国的にも珍しく貴重な歴史的建築の保存にとどまっていない。改修部分が多いがその活用には地方の町の未来が見据えられている。他の地域に与える影響も少なくないと思われる。

### 【会津坂下町立坂下東幼稚園】

会津坂下町立坂下東幼稚園は、幼小連携構想により、隣接する小学校と連携して、同敷地内に新設された幼稚園です。園舎は卓越風向に配慮し、冬の風雪から園庭を守る様にV字に配置され、園庭に雪を落とさない片流れ屋根や園舎と園庭を繋ぐガラス屋根の雁木空間を備えて、園児室は園庭に開かれており、雪を退けるのみではなく楽しむための配慮が感じられます。この建物に用いられた木材は全て町内の学校林から得ており、屋内に一列に並ぶ樹木のような丸太の柱や無塗装の内装に園児が接することで、教育的な効果も大いに予感されます。木材と加工の徹底した地産地消や、暖房を目的として採用された地中熱ヒートポンプ、床下空調、開口部の断熱への配慮等、環境面の取組みも注目に値します。これらの事が審査委員会において高く評価されました。

今後、エネルギー消費や屋内環境の評価を行うことで、環境面の取組みにおいても評価

されることを期待します。

特別賞

### 【水平線に沈む屋根】

この住宅のユニークなところは、北側の前面道路から見た外観である。砂利敷の前庭（駐車場）、生垣の向こうに緩勾配の金属板葺きの屋根のみが見える。建築の背景は、敷地の南側隣地に広がる保安林である。敷地は仙台市太白区の住宅地の端にあり、自然豊かな林に面するが、傾斜地である。このような決して良いとは言えない立地条件を活かして、開放的かつプライバシーに配慮された住宅になっている。斜面の下に玄関を設け、その上階（1階）に主な部屋が配置されている。1階は各室が東西方向へ一列に配置され、南面が全て窓になっており、林へ向かって開かれている。東側半分を占めるLDKは、北、東、南の三方が外に面し、窓で囲まれた最も居心地のよい空間である。1階の床が道路・前庭レベルより低く設けられており、前述の生垣もあるため、外からの視線が気にならない。プライバシーに配慮されつつ、通風が確保されている。南側隣地の落葉林は、夏の日射を遮り、冬の日射を取り入れることであろう。これらの工夫によって、都市の住宅地において別荘のような住宅が実現されている。特殊な立地や外観の住宅建築であるが、自然と建築のあしかたを問う普遍性もうかがえる。野鳥の窓ガラスへの衝突に配慮がほしい。

### 【かなや幼稚園】

かなや幼稚園は、屋内に運動が出来る空間を備えた幼稚園です。園舎の中央に広い床を持ち、この床を取り囲むように園児室ほかの諸室が配置され、その上部は2階を一周するテラスになっています。テラスは中央の空間と広い階段で結ばれ、ブリッジや1階への滑り台が設けられるなど、屋内でありながら、園児がこの空間を立体的に利用するための工夫が見られます。この全てが一つの膜屋根で覆われることで屋内化され、天候を問わず園庭同様に使える空間になっています。空調は、外気と同程度を設計目標にして、園庭に埋設されたクール／ヒートチューブを介して導入した外気を温調して供給すると共に、屋根の適所にサーキュレータを設ける等きめ細かい配慮が見られます。また、膜屋根を透過する自然光によって十分に明るく、屋内でありながら狭苦しさの無い快適な空間を実現しています。この幼稚園には、屋内で子供を運動させたいという事情もありますが、寧ろポジティブな印象を受ける建築であり、特別賞にふさわしい作品であると評価されました。

### 第35回東北建築賞作品賞選考委員会

選考委員長 ・恒 松 良 純 秋田工業高等専門学校環境都市工学科  
委 員 ・飯 藤 将 之 仙台高等専門学校建築デザイン学科  
・最 知 正 芳 東北工業大学建築学科  
・齋 藤 俊 克 日本大学工学部建築学科

- ・小 杉 学 東北工業大学ライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科
- ・増 田 聡 東北大学大学院経済学研究科
- ・相 模 誓 雄 仙台高等専門学校建築デザイン学科
- ・橋 本 典 久 八戸工業大学土木建築工学科
- ・西 村 明 男 (株)佐藤総合計画東北事務所
- ・藤 原 薫 (株)鈴木建築設計事務所
- ・小 林 光 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻